

平成27年度 第1回  
函館市企業局経営懇話会 資料

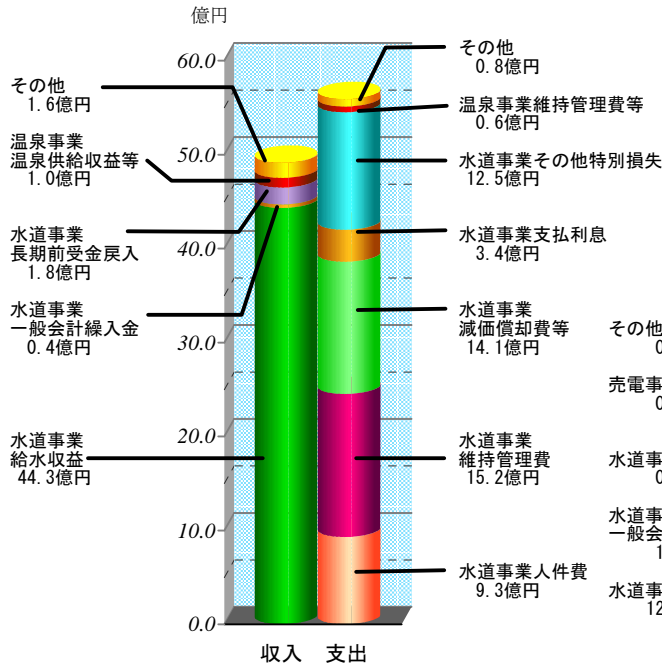
- 1 平成26年度 企業局各会計決算（見込み）について
- 2 函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理関係資料
  - (1) 平成27年度の進行管理（中間評価）について
  - (2) 中間評価シート
  - (3) 進行管理シート（平成26年度計画における局内評価）
  - (4) 参考資料（平成27年7月）

函館市企業局

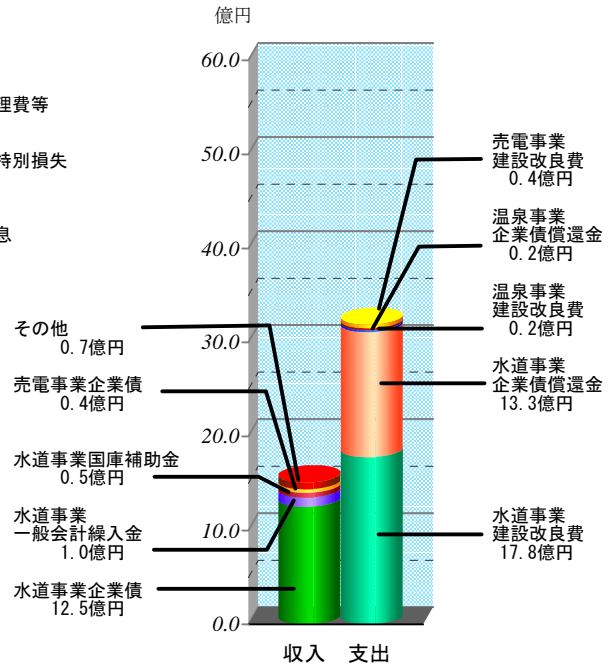
# 平成26年度企業局各会計決算(見込み)について

## 水 道 事 業 会 計

### 収益的収入及び支出



### 資本的収入及び支出



収益的収入合計	49.1億円	資本的収入合計	15.1億円
収益的支出合計	55.9億円	資本的支出合計	31.9億円
差引(A)	-6.8億円	差引(B)	-16.8億円
(純損)	8.0億円		
減価償却費等(C)	23.9億円		
前年度末財源残額(D)	22.5億円		
当年度財源過不足額(E=A+B+C)	0.3億円		
当年度末財源残額(F=D+E)	22.8億円		

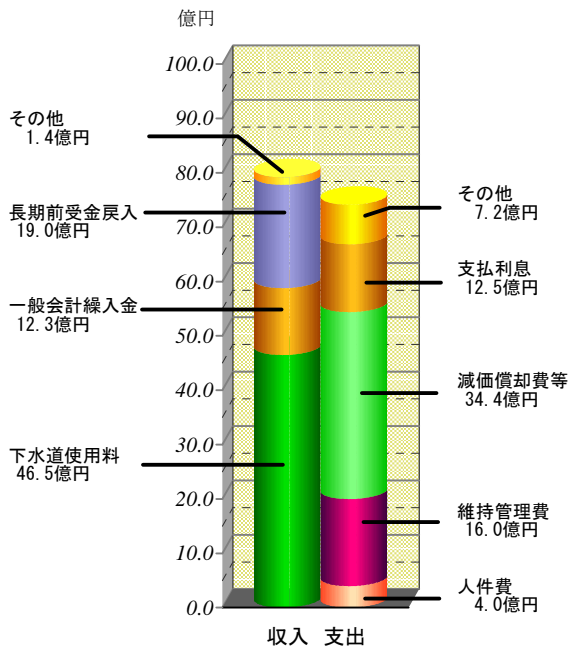
### 貸借対照表

平成27年3月31日現在

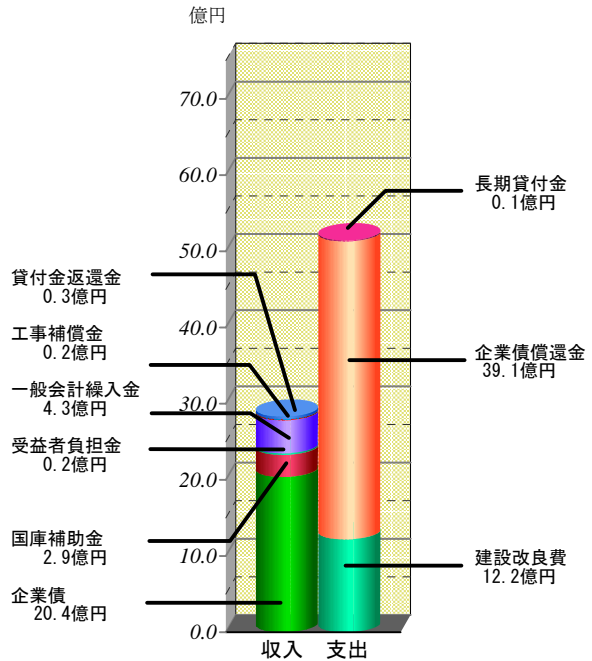
千円		千円	
固定資産	30,371,728	固定負債	18,058,842
水道事業有形固定資産	29,884,731	企業債	16,924,640
温泉事業有形固定資産	448,392	引当金	1,134,202
売電事業有形固定資産	34,314	流動負債	2,374,233
投資その他の資産	4,291	企業債	1,314,095
流動資産	3,333,775	未払金	962,147
現金預金	2,784,360	引当金	71,322
未収金	549,365	その他	26,669
その他	50	繰延収益	3,169,005
		資本金	6,632,995
		剰余金	3,470,428
		資本剰余金	240,987
		利益剰余金	3,229,441
		当年度未処分利益剰余金	3,229,441
	33,705,503		33,705,503

# 公 共 下 水 道 事 業 会 計

## 収益的収入及び支出



## 資本的収入及び支出



収益的収入合計	79.2億円	資本的収入合計	28.3億円
収益的支出合計	74.1億円	資本的支出合計	51.4億円
差 引 (A)	5.1億円	差 引 (B)	-23.1億円
(純 利 益)	4.6億円		
減価償却費等 (C)	19.1億円		
前年度末財源残額 (D)	17.4億円		
当年度財源過不足額 (E=A+B+C)	1.1億円		
当年度末財源残額 (F=D+E)	18.5億円		

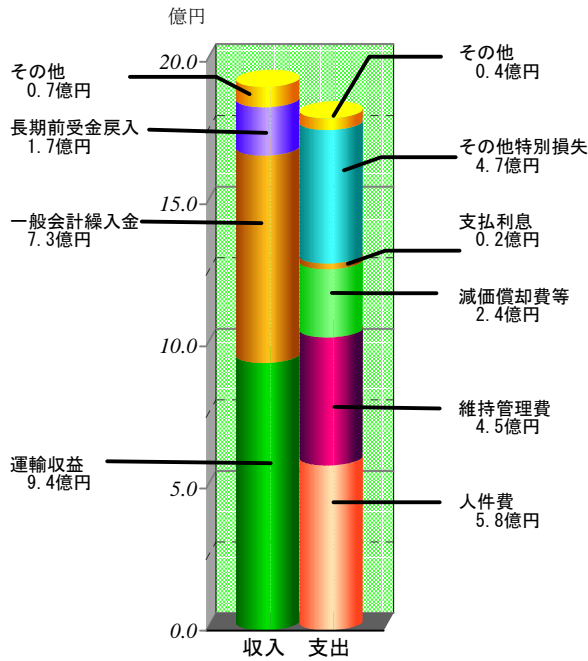
## 貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

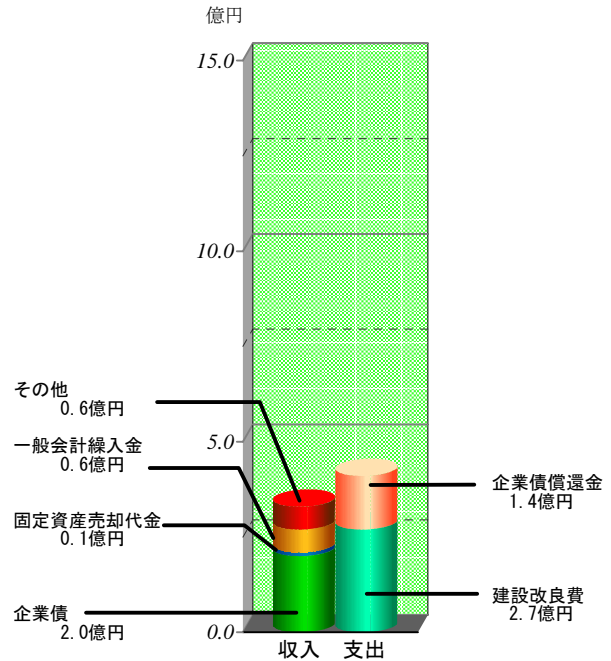
千円		千円	
固定資産	106,616,873	固定負債	55,859,249
有形固定資産	103,749,286	企業債	55,443,849
無形固定資産	2,843,084	引当金	415,400
投資その他の資産	24,503	流動負債	4,405,162
流動資産	2,268,515	企業債	4,024,995
現金預金	1,763,998	未払金	355,613
未収金	450,556	引当金	22,141
その他	53,961	その他	2,413
		繰延収益	44,642,178
		資本金	1,557,199
		剰余金	2,421,600
		資本剰余金	1,282,057
		利益剰余金	1,139,543
		当年度未処分利益剰余金	1,139,543
	108,885,388		108,885,388

# 交 通 事 業 会 計

### 収益的収入及び支出



### 資本的収入及び支出



収益的収入合計	19.1億円	資本的収入合計	3.3億円
収益的支出合計	18.0億円	資本的支出合計	4.1億円
差引(A)	1.1億円	差引(B)	-0.8億円
(純利益)	1.0億円		
減価償却費等(C)	4.4億円		
前年度末財源残額(D)	-2.9億円		
当年度財源過不足額(E=A+B+C)	4.7億円		
当年度末財源残額(F=D+E)	1.8億円		

## 貸借対照表

平成27年3月31日現在

	千円		千円
固定資産	2,471,323	固定負債	1,595,168
有形固定資産	2,471,081	企業債	1,214,805
投資その他の資産	242	引当金	380,363
流動資産	346,105	流動負債	287,220
現金預金	169,665	企業債	124,824
未収金	95,370	未払金	105,092
商品	3,012	引当金	33,256
貯蔵品	78,058	その他	24,048
		繰延収益	600,927
		資本金	382,657
		剰余金	-48,544
		欠損金	48,544
		当年度未処理欠損金	48,544
	2,817,428		2,817,428

## 2 函館市交通事業經營計畫（第2次）進行管理關係資料

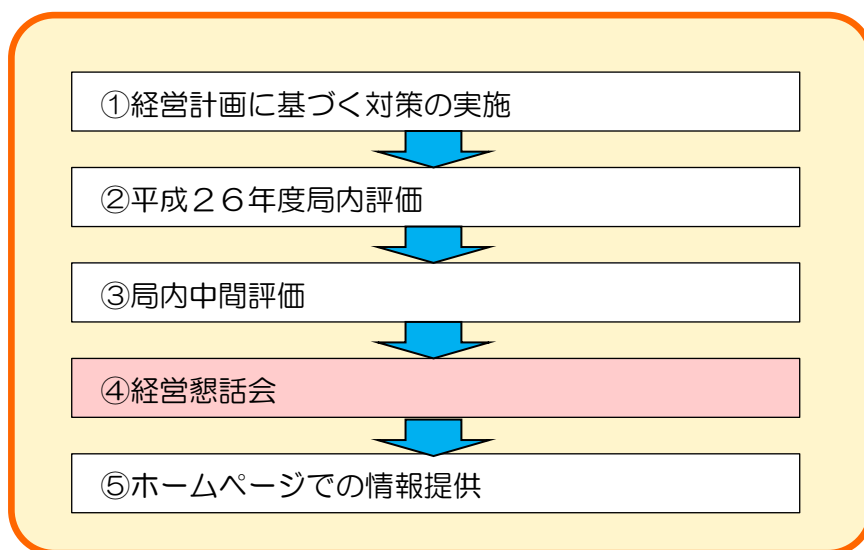
## ○平成27年度の進行管理（中間評価）について

### 1 中間評価について

本進行管理については、開始した平成24年度以降、毎年度、実績等について検証と自己評価を行い、これらに対して経営懇話会から意見聴取して進めてきたが、平成27年度については、10か年の経営計画のうち、半分に当たる前5か年が経過したことから、平成26年度の自己評価を行った上で、本進行管理における当初の予定通り中間評価（前5か年の総合評価）を実施する。

### 2 中間評価等の進め方について

中間評価については、次の流れに従って作業を進める。



### 3 中間評価における各対策の評価等

総合的な評価を行うことから、各対策における中項目毎に、通常の進行管理と同様に次のA～Eによって評価する。

- A: 「完了した」
- B: 「計画どおり進んでいる」または「成果が上がっている」
- C: 「計画に遅れが生じている」または「あまり成果が上がっていない」
- D: 「計画が滞っている」または「全く成果が上がっていない」
- E: 「外的要因等により休止・中止する」

### 4 懇話会意見等

局内中間評価の結果に対しては懇話会から意見を求めるが、懇話会として各委員が了解した意見を聴取する目的から、①各委員からの個別意見等の提出 → ②懇話会での意見等の集約（とりまとめ）の手順を経た内容について、③懇話会意見等として中間評価シートの「経営懇話会意見等」欄に記載するものとする。

なお、懇話会から提出された意見等で、次年度以降の実施計画や対策目標として反映可能と判断されるものについては、実施計画等へ盛り込むこととする。

## 【個別意見の記入方法】

意見等の提出にあたっては、評価結果に応じて次に記載のア～クで回答することを基本とする。ただし、より具体的な提案や助言など、これらの区分によらない意見等がある場合は、ケとして具体的な意見等を記載するものとする。（空欄で提出のあった場合は「特に意見等なし」として取り扱うものとする。）

評価結果	記入する	左の記号等の意味	意見等欄への記入例
A	ア	完了したことから特に意見等はない。	ア（または空欄）
B	イ	計画どおり進んでいる（成果が上がっている）ことから、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。	イ（または空欄）
C	ウ	計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）が、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。	ウ（または空欄）
	エ	計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）ことから、〇〇を実施してはどうか。	エ 〇〇してはどうか
D	オ	計画が滞っている（全く成果が上がっていない）が、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。	オ（または空欄）
	カ	計画が滞っている（全く成果が上がっていない）ことから、〇〇を実施してはどうか。	カ 〇〇してはどうか
	キ	計画が滞っている（全く成果が上がっていない）ことから、〇〇を中止（休止）してはどうか。	キ 〇〇
E	ク	状況から休止（中止）は妥当と考える。	ク（または空欄）
何れの 場合でも	ケ	上記何れにも該当しない場合。記号「ケ」の後ろに文章で記入。 <b>（対策に対する具体的な進め方や意見等を記入）</b>	ケ 〇〇については、△△していく方向でどうか

## 5 今後のスケジュール

- 7月27日（月） 第1回経営懇話会（評価説明）
  - ・ 8月14日（金） 各委員からの質問事項等提出（郵送・Eメール）
  - ・ 8月31日（月） 質問に対する各委員への回答の送付（郵送）
  - ・ 9月11日（金） 各委員からの個別意見提出（郵送・Eメール）
- 10月中旬～下旬 第2回経営懇話会（懇話会意見のとりまとめ）
- 【12月下旬 ホームページでの公表（郵送・Eメール）】

【別紙】函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理作業スケジュールについて（詳細版）

H27.7.27(月)

日程	事務局	各委員
7月27日(月) (本日)	○交通事業経営計画（第2次）進行管理における局内中間評価等の説明	
7月28日(火) 8月14日(金)	○各委員からの質問等受付（電話・FAX・Eメール） 〔《連絡先》〕 管理部長経営企画課 浅原 苑 TEL:27-8766 FAX:23-7053 E-Mail:keiei@city.hakodate.hokkaido.jp	○進行管理シート毎に、各委員 <u>個人の意見を記入→A3の一覧表に記入</u> ○各シートを見て疑問点などがあるため、 <u>意見を記入できない項目について、質問事項として抽出し、電話・FAXまたはEメールで事務局に提出</u>
8月17日(月) 8月31日(月)	○質問の書面による回答 → 類似質問などをとりまとめ、Q&Aとして作成し、各委員に配布	○事務局から届いた質問事項の回答を基に、疑問点などのため <u>未記入であった項目について、意見を記入</u>
9月1日(火) 9月11日(金)	○各委員からの個別意見等の受付	○事務局へ <u>個別の意見等を提出</u> （郵送またはEメール） 〔《送付先》〕 〒040-8541 函館市末広町5番14号 企業局管理部経営企画課 浅原 苑（返信用封筒にて） E-Mail:keiei@city.hakodate.hokkaido.jp
9月14日(月) 第2回 懇話会まで	○各委員から提出された意見の集約 → 会長と協議し、懇話会意見等（案）を作成	
10月中旬～下旬	○ <b>第2回 経営懇話会の開催</b> → 「個別意見」と「懇話会意見等（案）」を資料配布	○配布された「懇話会意見等（案）」をもとに、懇話会としての意見をまとめる
11月～12月中旬	○ホームページによる進行管理シートの公表	



## 函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の中間評価シート

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の中間評価シート

対策項目・対策内容		主管課 (担当)	H22 H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H22～H26 中間評価			
							評価	評価理由	経営懇話会意見等	
1 財政収支試算等の計画・実績		P.1 P.2	経理課(経理) 施設課	B	B	B	B	B		
2 収入に係る対策										
(1) 料金制度について										
(ア) 均一料金制度についての検討の継続 ●利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。		P.3	経理課(経理)	C	B	B	B	B	ICカードシステムについては、整備費用や函館バスとの乗り継ぎ制度から、単独での導入が難しく、市においても効率的な交通体系の構築を目指した検討を進めているなかで、「利便性の向上が期待できる施策」となっていることから、市企画部や函館バスと協働し、導入に向けた調査等を進めている。 料金体系については、市の公共交通施策に記載されている「利用しやすい料金体系」について検討を始めたところで、引き続き関係機関を交えた協議を重ねる必要がある。	
(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し ●「エコロジー・バス(環境定期券等)新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。		P.4	経理課(経理)	C	E					
(ウ) ICカード等新媒体の調査研究 ●ICカード、モバイル等新媒体の調査・研究を行う。		P.5	事業課(営業)	C	B	B	B			
(2) 乗客サービスについて										
(ア) 職員の接客マナーと企業意識向上の徹底 ●職員全員に対し、乗客接客マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。		P.6	総務課	B	B	B	B	B	職員の接客マナーの向上について、全乗務員を対象とした接客研修を毎年度実施することで、接客の対応方針の統一が図られてきている。 運行体制については、北海道新幹線の開業による乗客動向やこれまでの運行実績を踏まえて検討することとしている。また、他の各対策項目については、乗客サービスの向上が図られよう、継続的に取り組んできた。特に、スマートフォン等のモバイル端末の普及や、市電を利用する海外からの観光客が増加傾向にあるなか、全国で初めて市電車内での無線LANサービスを提供できたことは、乗客の利便性向上にも繋がったものと考えている。 乗客サービスについては、企業イメージの向上と費用対効果を考慮しつつ乗客の利便性向上を図ることで利用増へ結びつけていくことを目的としているが、苦情件数の減少も見受けられ、また、利用促進策とあわせた企業イメージの向上も図られてきているものの、これらの対策が直接の利用増に繋がっているとは言い難い状況であることから、今後は新幹線開業による効果を分析しつつ、より収益性が高くなる運行体制についても検討していく。	
(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築 ●乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。		P.7	事業課(電車)	B	B	B	B			
(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策 ●電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。		P.8	事業課(営業)	B	B	B	B			
(イ) 他の交通機関との連携強化 ●乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。		P.9	事業課(営業)	B	B	B	B			

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の中間評価シート

対策項目・対策内容	主管課 (担当)	H22 H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H22～H26 中間評価		
						評価	評価理由	経営懇話会意見等
<b>2 収入に係る対策</b>								
<b>(3) 広告料収入について</b>								
(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進 ●電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。	P.10	事業課(営業)	B	B	C	C	B	計画策定時以降、社会情勢や環境の変化などにより、広告については厳しい状況のなか、路面電車開業100周年記念事業での企画、企業等とのタイアップ、販売方法や各種商品開発等で工夫しながら、広告料収入等の確保に努めた。また、函館市電のPRにも繋がったものとする。 しかしながら、ネーミングライツ制度の利用減少やオリジナルグッズの効果的な販売手法などの課題も残されており、市電や電停の広告媒体としての利用価値を高め、安定的な収入が確保されるよう、PR方法や販売手法の多様化・効率化を検討する必要がある。
(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売 ●車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。	P.11	事業課(営業)	B	B	B	B		
(ウ) 広告料金の改定について検討 ●広告料金の単価等の改定について検討する。	P.12	経理課(経理)	C	E				
(エ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売 ●電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。	P.13	事業課(営業)	B	B	B	B		
<b>(4) 利用促進について</b>								
(ア) 全市民的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進 ●環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市民的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。	P.14	事業課(営業)	B	B	B	B	B	市電の利用促進にあたって、関係機関との連携による沿線企業への働きかけや各種行事・キャンペーン等のPR活動に取り組んだほか、1日乗車券を利用した旅行プランや修学旅行時の社会学習プランなどを旅行代理店や学校関係者などへ積極的に提案するなどし、これまでの5か年について、一定の利用と収益を確保できた。 また、利用者への情報発信等の強化として、SNSや電停広報装置を用いた広報を開始したほか、JR函館駅への電停案内板の設置や各種案内の多言語化にも努めた。 今後は、北海道新幹線の開業により、より多くの方々に市電が利用されることが期待できることから、引き続き各種関係団体や旅行代理店等と連携したPR活動に努めるとともに、様々な情報媒体を通じた情報発信を進めていく。
(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施 ●路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。	P.15	事業課(営業)	B	B	B	B		
(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充 ●定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。	P.16	事業課(営業)	B	B	B	B		
(エ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大 ●沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。	P.17	事業課(営業)	B	B	B	B		
(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 ●旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行バック商品等の拡大に努める。	P.18	事業課(営業)	B	B	B	B		
(カ) 交通事業等についての情報発信の強化 ●市内公共交通機関との連携や民営バスの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。	P.19	事業課(営業)	B	B	B	B		

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の中間評価シート

対策項目・対策内容	主管課 (担当)	H22 H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H22～H26 中間評価		
						評価	評価理由	経営懇話会意見等
<b>3 支出に係る対策</b>								
<b>(1) 効率化の推進について</b>								
(7) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立 ●毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。	P.20	総務課	B	B	B	B	B	各対策項目について、外的要因等により休止となった項目を除いて、計画どおりの取組みだけでなく、将来にわたって事業を継続していくため、水道局との組織統合などに取り組んできており、結果、26年度には、計画よりも少ない職員数で効率的な組織運営ができた。 今後においても、事務事業の見直しや様々な経費の点検などを行い、更に効率的な組織体制づくりと事業運営に努めていく。
(4) 施設整備業務および管理業務の外注化、嘱託化推進による人件費の抑制 ●技術職員、事務職員等の担当業務について、アウトソーシング推進の見地からの評価を行い、外注化・嘱託化を推進し、人件費総額の抑制に努める。	P.21	総務課	C	E				
(7) 事業経費等の総点検によるコスト縮減 ●事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。	P.22	総務課	B	B	B	B		
<b>(2) 建設改良について</b>								
(7) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進 ●車両、線路、電路等施設について、日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保とするため、改修・更新を進める。	P.23	施設課	B	B	B	B	B	車両や電路設備の改良・更新を計画どおりに進めたほか、軌道の整備について、道路管理者の一部費用負担で交差点改良を行えたため、計画以上に実施できた。 また、補助制度については、関係機関と連携を図り、情報収集や制度の拡充を継続的に要望している。 今後も安心して市電を利用していただくため、計画的な施設等の改良・更新により良好な走行環境の確保を図るとともに、補助制度の拡充等を継続的に要望し、財源の確保に努めていく。
(4) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続 ●LRTシステム整備費補助金制度について、国に対し、補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。	P.24	施設課	B	B	B	B		

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の中間評価シート

対策項目・対策内容		主管課 (担当)	H22 H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H22～H26 中間評価		
							評価	評価理由	経営懇話会意見等
4 一般会計からの補助									
(1) 施設改善関係に対する補助について ●安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。	P.25	経理課(経理)	B	B	B	B	B	一般会計からの補助については、減価償却費に要する経費や基礎年金拠出金の公的負担に要する経費など、概ね計画どおり補助金の交付を受けることができた。 今後も経費節減に努めたうえで、引き続き一般会計と協議していく。	
(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について ●安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。	P.26	経理課(経理)	B	B	B	B			
5 累積資金不足額の処理									
(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について									
(7) 一般会計補助金による年次的処理 ●市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。	P.27	経理課(経理)	B	B	B	A	A	バス事業の不良債務については、一般会計と協議のうえ、平成26年度補正予算においてバス不良債務解消補助金の増額と軌道事業からの財源充当により平成26年度末で解消した。また、交通事業会計全体の不良債務についても、計画より早く解消した。	
6 走行環境の改善									
(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について									
(7) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続 ●運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。	P.28	事業課(電車)	C	E			B	接触事故防止による安全性の向上や定時性の確保を図るため、軌道敷侵入時の危険性を周知する自動車運転者向けの啓発リーフレットを、交通安全運動期間での取り組みや自動車学校等を通じて継続的に配付した。また、公安委員会と協議して、自動車運転免許試験所にリーフレットが設置できたほか、レンタカー会社にも働きかけ、リーフレットの設置や注意喚起を依頼でき、意識啓発の強化に努めた。 今後も安全で円滑な運行を確保するため、引き続き広報紙やホームページ、リーフレットによる啓発活動を行っていく。	
(4) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化 ●自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。	P.29	安全推進課	B	B	B	B			

# 函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

【平成26年度計画における局内評価結果】

1 財政収支試算等の計画・実績

(1) 財政収支試算

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	2,735	2,755	2,735	2,740	2,735	2,745	2,735	2,741	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	16,129	15,578	15,981	15,156	15,853	14,272	15,743	14,100	15,651	15,574	15,510	15,461	15,425
	前年増減比(%)	-1.16		-1.04	-2.56	-0.92	-2.71	-0.80	-5.83	-0.69	-1.21	-0.58	-0.49	-0.41	-0.32	-0.23
	車両数(両)	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	107	114	104	105	104	105	108	103	106	106	106	105	105
	正職員数	69	69	69	69	66	67	66	67	66	67	66	66	66	66	66
	嘱託職員等	40	40	38	45	38	38	38	38	42	36	40	40	40	39	39
経常収支	営業収益	1,012	1,023	1,002	991	987	1,005	977	1,010	968	1,000	963	954	948	943	942
	うち料金収入	953	965	942	939	927	944	917	939	907	936	901	892	886	880	878
	営業外収益	293	280	288	286	295	302	300	302	321	518	314	313	302	316	301
	うち一般会計補助金	203	197	198	201	204	215	209	219	230	254	223	222	212	226	211
	経常収益計	1,306	1,303	1,290	1,277	1,282	1,306	1,277	1,312	1,289	1,518	1,276	1,266	1,250	1,259	1,243
	営業費用	1,230	1,202	1,231	1,228	1,171	1,145	1,168	1,167	1,276	1,268	1,219	1,204	1,212	1,233	1,182
	人件費	611	592	626	610	558	538	567	555	670	580	630	584	622	635	606
	うち職員給与費	486	480	490	478	472	440	481	445	489	460	487	493	505	511	517
	うち退職金	37	25	50	49	0	0	0	8	87	14	52	0	26	36	0
	経費	453	433	448	449	449	435	442	430	433	451	427	420	402	393	387
	動力・燃料費	50	47	50	48	50	50	50	51	50	58	50	50	50	50	50
	修繕費	252	236	249	239	255	236	251	235	246	261	244	240	225	220	217
	その他	151	150	148	162	144	149	140	144	137	132	133	130	127	124	121
	減価償却費	166	177	159	169	165	172	160	182	173	237	163	200	188	204	188
	営業外費用	75	61	70	53	65	51	61	46	57	58	59	59	60	60	59
	うち支払利息	31	32	28	27	25	23	23	20	21	17	26	28	28	28	28
	予備費															
経常費用計	1,305	1,263	1,302	1,281	1,237	1,196	1,229	1,213	1,333	1,326	1,278	1,263	1,271	1,292	1,241	
差引	1	40	-12	-4	45	111	48	99	-44	192	-2	3	-21	-33	2	
特別損益	特別利益	118	118	118	85	118	93	118	93	118	394	118	118	118	118	110
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	472	0	0	0	0	0	
	差引	118	118	118	85	118	93	118	93	118	-78	118	118	118	118	110
純損益	118	158	106	81	163	204	166	192	74	114	116	121	97	85	111	
資本的収支	資本的収入	163	153	279	266	317	351	344	470	414	329	291	188	209	162	142
	うち企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	350	197	218	149	95	108	90
	うち市・国補助金	78	78	133	132	157	168	209	234	64	64	73	39	114	54	53
	資本的支出	298	296	396	389	399	440	424	559	480	412	367	306	335	256	258
	うち建設改良	120	118	216	209	230	271	265	396	350	272	253	184	224	143	141
うち企業債償還元金	178	178	180	180	169	169	159	163	130	140	114	122	111	113	117	
差引	-135	-143	-117	-123	-82	-89	-80	-89	-66	-83	-76	-117	-126	-94	-116	
補填財源	284	334	265	248	328	375	325	371	247	554	279	321	285	289	300	
単年度資金過不足額	149	190	148	125	246	285	246	282	181	471	203	204	159	195	184	
累積資金過不足額	-1,023	-980	-875	-855	-629	-569	-383	-288	-202	184	1	205	364	560	743	
軌道事業分	31	72	61	112	189	305	317	493	380	184	465	551	592	669	743	
自動車運送事業分	-1,054	-1,052	-936	-967	-818	-874	-700	-781	-582		-464	-346	-228	-110	0	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(2) 建設改良計画 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m	400m	400m	400m	434.5m	100m	166m		66m	200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所													
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所			1か所										
	駒場変電所改良							実施設計	実施設計	機器製作	本館新設・機器製作	取付等				
	電路改良										基本設計					
	超低床電車購入							1両	1両					1両		
	電車車体改良			1両	1両	1両	1両						1両			
	電車車体大規模改修											2両	1両		1両	1両
建設改良費 計	120	118	216	209	230	271	265	396	350	272	253	184	224	143	141	
財源内訳	企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	350	197	218	149	112	91	90
	国補助金	18	18	35	40	35	46	65	89	0		18	18	56	26	26
	市補助金	18	18	35	30	35	35	65	66	0		18	18	56	26	26
	工事負担金						33		57		67					
	自己資金		7		6		7		5		8					
	計	120	118	216	209	230	271	265	396	350	272	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(3) 一般会計補助金総括表 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
施設改善関係	222	231	256	265	288	303	316	330	258	283	244	244	270	254	237
減価償却費	131	140	130	138	141	145	140	153	173	188	163	186	174	198	183
企業債償還元利金	74	73	91	89	112	110	102	98	85	81	64	32	30	30	29
LRT関連補助	18	18	35	30	35	35	65	66			18	18	56	26	26
基礎年金拠出金				3		13	9	13		14		9	9		
その他				5											
施設維持保守関係	34	25	34	27	34	33	34	34	34	35	34				
施設等保守費	34	25	34	27	34	33	34	34	34	35	34				
累積資金不足額処理関係	125	120	124	86	123	94	122	94	120	393	119	118	118	118	110
累積資金不足額解消	118	118	118	85	118	93	118	93	118	393	118	118	118	118	110
一時借入金利息	7	2	6	1	5	1	4	1	2	0	1				
合計	381	376	414	378	445	430	471	458	413	711	397	362	388	372	347

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(4) 累積資金不足額の処理計画 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
前年度末累積資金不足額	1,172	1,170	1,054	1,052	936	967	818	874	700	781	582	464	346	228	110
処理額	資金不足解消額	118	118	118	85	118	93	118	93	118	781	118	118	118	118
	支払利息	7	2	6	1	5	1	4	1	2	0	1			
	計	125	120	124	86	123	94	122	94	120	781	119	118	118	110
資金不足残額	1,054	1,052	936	967	818	874	700	781	582	0	464	346	228	110	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。





2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し
対策内容	「エコロジー・バス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○増客につながる割引制度・定期券の調査・研究  ○「エコロジー・バス」導入について、関係部局・函バスとの協議	○調査、研究、協議結果に基づく庁内協議および方向付けの整理			○制度実施の是非の決定  《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
実績・成果	○交通局(当時)と協議のうえ、企画部企画管理課においてこれまでの調査・研究結果をまとめた。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	休 止	休 止	

平成 26 年度	
評 価	
評価理由	

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード, モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標				○局内協議および導入可否の整理	※当初予定 《実施の方向性の場合》 H26～27 ○導入に向けた基本調査, 関係機関との協議 H28～ ○仕様作成, 積算, 予算措置, 導入実施	○市の交通施策と連携したICカードシステムの導入検討
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし	○導入費用などについて調査した。	○関係機関での協議および道内の先行導入事業者への実態調査および協議を進めた。 ○ICカードシステムの開発業者への調査を行った。	○関係機関との協議や先行導入事業者への実態調査を行った。 ○ICカードシステムの開発業者への調査を行った。	


平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	市・函館バスと連携を図り, 活用できる国の補助制度や先行導入事業者への調査, ICカードシステムの開発業者からの情報収集等を行い, 導入に向けた検討を進めた。

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ア) 職員の接客マナーと企業意識向上の徹底					
対策内容	職員全員に対し、乗客接客マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○乗務員を対象とした接客研修を実施する。	○乗務員、窓口業務を中心とした接客研修を実施する。	○運輸サービス業に適した講師による接客研修を実施する。 ○ホームページ等による利用者の意見等を伺う方策を検討する。	○全職員を対象とした接客研修の実施 		
実績・成果	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。 ○企業局および市役所で実施した接客研修やクレーム研修に乗務員、電車内勤者等の現場対応者を参加させた。	○運輸サービス業に適した講師による接客向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。			

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	接客マナーの向上を効果的に図るため、全乗務員を対象とした研修を行った。

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築					
対策内容	乗客需要に対する効率・効果的な営業時間, 運行時分, 本数・間隔等について検討を行い, 運行体制の再構築を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○現行ダイヤの検証			○検証結果や乗客動向から, ダイヤ改正について検討する。		○新幹線開業後の乗客動向や, 実施してきた増車・間引き運行の検証 ○利便性と収益性を考慮した運行体制の検討
実績・成果	○6年ぶりとなるダイヤ改正(大幅改正は平成5年度以来)を行った。 ○ダイヤ改正時に予想した運行密度の検証を行った。(区間時分延長により, 乗り残しの発生がないか等)	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○運行実態調査を行い, 所要時間等の乖離がないか調査をした。	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○今年度は, 節電に合わせて間引き運転を行ったが, 大きな混乱は無かった。	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○昨年度に引き続き, 節電に合わせて間引き運転を行ったが, 大きな混乱は無かった。 ○北海道新幹線の開業後の乗客動向を検証したうえで, ダイヤ改正等を検討することとした。	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○昨年度に引き続き, 節電に合わせて間引き運転を行った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない	<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
----	---	--	---

評価理由	混雑時期や時間帯, イベント開催時などで遅延が生じないよう増車運行を行ったほか, 節電に合わせた間引き運転の際には, 電停やホームページ等での事前周知により影響なく実施でき, 効率的な運行が図られている。
------	--



2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 他の交通機関との連携強化					
対策内容	乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○関係機関との協議および連携強化						
実績・成果	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。 ○レトロ電車運行期間において、観光客の利便性の向上を図るため、レトロ電車「箱館ハイカラ號」(企業局)と「箱館浪漫号」(函館バス)との接続運行を行った。	○平成23年度と同様に、函館バスと連携した乗客輸送を行った。 ○初めて、JR北海道・函館バス・企業局の3事業者が連携した事業「はこだて旅するパスポート」に着手した。	○平成24年度と同様に、函館バスとの連携した乗客輸送を行ったほか、新たにミッドナイトトラムとミッドナイトバスの接続運行も実施した。 ○JR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」については、本格的に通年販売となった。	○平成25年度と同様に、函館バスと連携した乗客輸送を行った。 ○JR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」について、引き続き通年販売を行った。		

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	前年同様に、函館バスとの接続運行の実施や、函館市を含めた5市町でJR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」が通年で販売されるなど、関係機関と連携を図り、利便性に配慮した取組を実施した。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進					
対策内容	電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券 平成25年9月で契約終了  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫  ○ネーミングライツ制度のあり方を検討した。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	魚市場通電停(函館信用金庫)の更新のみで、新たな利用申し込みがない状況にあるため、制度の条件や勧誘手法のほか、電停広告も含めた検討を行っている。



2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売					
対策内容	車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○新たな広告商品の開発と販売促進					
実績・成果	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」 ○「車内ストラップ広告」	○芸能人の吹き替えによる電停案内を行った。 ○車体の部分ラッピング広告	○企業の記念イベントにより、期間限定の車体広告を行った。 ○車内にミントの鉢植えを置くなど、新たな広告手法を試行し、話題になった。	○低床車両1両全体を新幹線デザインにする、新幹線開業に向けたPR広告が実施された。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	北海道新幹線開業に向けたPR広告として、低床車両1両について、窓枠部分(バナー)を含めた車体全体を新幹線デザインにするという新たな広告を実施した。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討					
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

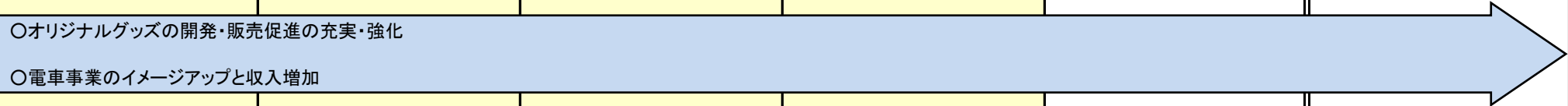
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○広告料金の調査・研究					
	○他の軌道事業者の広告料金を調査する					
実績・成果	○公営他事業者, 4者の調査を実施した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	休 止	休 止	

平成 26 年度	
評 価	
評価理由	

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売					
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	<p>○オリジナルグッズの開発・販売促進の充実・強化</p> <p>○電車事業のイメージアップと収入増加</p> 					
実績・成果	<p>【商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カレンダー</li> <li>○時計</li> <li>○箱館ハイカラ號のダイキャストカー</li> <li>○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品</li> <li>○定期券レプリカキーホルダー</li> </ul>	<p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の交通100周年とコラボしたDVD</li> <li>○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナーポスター」や「ドア挟み注意ステッカー」</li> </ul>	<p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道むすめキャラクター「ミニスタンプ」と「IDカード風バッジ」のセット</li> <li>○函館市電8000形プラモデル</li> <li>○特製バッジとオリジナルフレーム切手セットほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○販売を継続するオリジナルグッズを整理した。</li> </ul> <p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DVD・鉄道むすめキャラクター「キーチェーン」</li> </ul> <p>【100周年記念商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○100周年記念誌・オリジナルフレーム切手・クリアファイル・USBメモリー・ポスター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○販売を継続するオリジナルグッズを費用対効果を勘案し、さらに整理した。</li> <li>○主力商品のダイキャストカー「らっくる号」の新幹線カラーバージョンの作成を検討した。</li> </ul>	

平成26年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	昨年度に引き続き、既存のオリジナルグッズの販売実績等に基づく整理や今後の販売方法の検討を進めた。また、主力商品のらっくる号のダイキャストカーは、新幹線カラーバージョンの作成を検討した。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進					
対策内容	環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○利用促進対策の実施					
実績・成果	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する					
評価理由	前年同様に、関係機関と協力して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。					

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路面電車感謝祭</li> <li>○「路面電車の日」記念事業</li> <li>○「鉄道の日」記念事業</li> <li>○200円均一運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路面電車感謝祭</li> <li>○「路面電車の日」記念事業</li> <li>○「鉄道の日」記念事業</li> <li>○200円均一運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路面電車感謝祭</li> <li>○「路面電車の日」記念事業</li> <li>○「鉄道の日」記念事業</li> <li>○200円均一運行</li> <li>○函館キッズタウンに参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【100周年イベント】</li> <li>○開業100周年記念大正時代の花電車出発式、100円均一運行、車内絵画展等</li> <li>【その他のイベント】</li> <li>○路面電車感謝祭</li> <li>○「路面電車の日」「鉄道の日」記念事業</li> <li>○200円均一運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路面電車感謝祭</li> <li>○「路面電車の日」「鉄道の日」記念事業</li> <li>○200円均一運行</li> </ul>	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	路面電車感謝祭をはじめとする各種催しなどを継続実施した。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
対策内容	定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
実績・成果	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を開催し、路面電車を利用した観光案内等を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトトラム)運行に合わせ、湯の川地区のホテルを訪問し、PR活動を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトトラム)運行に合わせ、湯の川地区等のホテルを訪問し、PR活動を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトトラム)運行に合わせ、湯の川地区等のホテルを訪問し、PR活動を行った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	<p>函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め利用促進を図った。また、深夜便運行の際にはホテル等に周知を図り、PR活動を行った。</p>

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(I) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大				
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。				
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
実績・成果	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。	○前年度までの取り組みについて継続して実施した。 ○新たに、自由市場と協力し、電車専用一日乗車券提示による割引案を取り決めた。	○前年度と同様な取り組みを、継続して実施した。 ○自由市場で買い物した際、電車専用一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックが受けられるサービスが実施された。 ○GLAYのコンサートに合わせた増車運行やオリジナル1日乗車券の作成・販売を行った。	○中島廉売・自由市場の取り組みやバル街実行委員会への協力など前年度と同様に、継続して実施した。 ○はこだて国際科学祭(キャンパスコンソーシアム主催(各大学集合体))のイベント開催で貸切電車を運行した。	

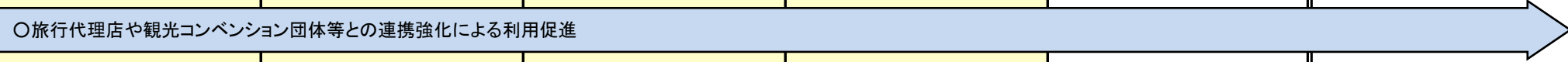
平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	<p>地域企業や団体等との連携により、電車広告や貸切電車の運行が実施されるなど、電車沿線地域で開催される各種イベントに市電が活用された。</p>

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進
対策内容	旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 						
実績・成果	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーの車内積み込みを実施した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。 ○パック旅行に組みやすい商品として、旅行会社のオリジナル一日乗車券を発行した。	○前年度と同様、旅行代理店等との連携による利用促進を図った。 ○新たな企画として、平成26年度に函館港に入港するクルーズ船の乗客を対象とした、市電を利用した観光プランが、旅行代理店との連携により商品化された。	○前年度と同様、旅行代理店等との連携による利用促進を図った。 ○クルーズ船の乗客を対象とした、市電を利用観光プランを旅行代理店と連携し販売した。 ○インバウンド観光誘致の一環として、旅行関連会社にレトロ電車での宣伝活動を行った。		

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	前年度同様、ツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案したほか、函館港に入港するクルーズ船乗客向けの市電を利用した観光プランを、旅行代理店との連携により販売できたなど、観光客の利用促進に努めた。(H26修学旅行391件、ツアー33件) また、函館市のインバウンド観光誘致の一環として、海外の旅行関連会社の担当者にレトロ電車の乗車体験をしてもらい、市電を利用した函館観光を宣伝した。



2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(カ) 交通事業等についての情報発信の強化
対策内容	市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標		○乗継制度等についての周知のための広報の検討・実施					
		○広報活動およびインターネットを活用した情報発信の強化について検討する					
		○情報発信強化についての方法を検討・ホームページの内容の充実					
実績・成果	○乗り継ぎ制度等について、函館バスと協力し、車内にポスターを掲示した。 ○ホームページ掲載の路線図を英語表記を追加した。	○電停広報装置を設置し、遅れなどの運行障害発生情報の発信を開始した。 ○ホームページ掲載の路線図を多言語表記にした。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベント等の情報をホームページやフェイスブックで発信した。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベントや日々の情報をホームページやフェイスブックで発信した。 ○JIS規格等に対応したシステムを導入する市ホームページへの移行作業を進めた。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○SNSでの情報提供を継続したほか、JIS規格対応の市ホームページに統合した。 ○函館駅前電停には、未来大学との連携協力した多言語表記の乗り案内を設置した。		

平成26年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	<p>運行遅延発生時等においては、電停広報装置やツイッター（ホームページにも表示）等を活用し、利用客への速やかな情報提供を行った。また、独自に運用していたホームページは、新たなシステムを導入した市ホームページへ統合することにより、JIS規格や多言語化等への対応を図った。</p> <p>改修した函館駅前電停には、未来大学との連携により作成した多言語表記の乗り案内を設置した。</p>

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
	○前年度の実績評価と再検討					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。	○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。	○水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。	○乗務経験や専門的な知識を有する人材を将来にわたり確保し、技術継承および安全管理体制の向上を図るため、職種変更試験制度を新設した。 ○水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎのための人員配置を行い、収納業務効率化の検討にも着手した。	○新設した職種変更試験制度に基づき、試験を実施した。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	将来的に必要となる乗務経験や専門的な知識を有する人材を育成する観点から、職種変更試験合格者の的確な配置を行った。

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化, 嘱託化推進による人件費の抑制					
対策内容	技術職員, 事務職員等の担当業務について, アウトソーシング推進の見地からの評価を行い, 外注化・嘱託化を推進し, 人件費総額の抑制に努める。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○各所属における業務の効率化の検討	○施設整備業務の外注化拡大に向け, 各種課題の解決を図る。 ○管理業務の嘱託化に向けた課題を整理・実施する。	・外注化および嘱託化の効果の検証  ○施設整備業務の外注化の拡大			
実績・成果	○施設整備業務のうち, 電路設備業務と車両整備業務について委託業務の拡大を目指し, 検討した。	○水道局との統合による業務の効率化(管理業務の統合)を図り, 管理業務の嘱託化をH24年度から実施することとした。 ○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。	○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。	休 止	休 止	

平成 26 年度	
評 価	
評価理由	

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯等により経費の削減を図っている。	○平成24年度までに徹底した経費の削減に取り組んできており、引き続きコスト縮減を図っていく。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯および未使用電子機器の電源オフなどの徹底を図った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	昨年度に引き続き、日常業務における経費節減に努めた。

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進					
対策内容	車両, 線路, 電路等施設について, 日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保とするため, 改修・更新を進める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 120 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 事業費 216 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 230 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 265 百万円	【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 350 百万円	【車両】車体改良 1両 【車両】車体修繕 5両 【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 900m 【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 945 百万円
実績・成果	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 114 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 事業費 205 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 434.5m 事業費 268 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 281 百万円	【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 ## 百万円	

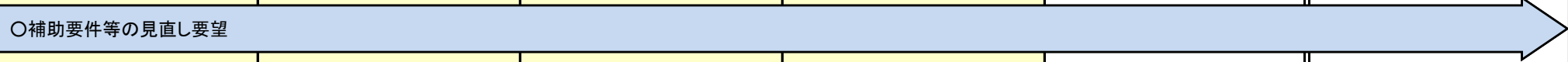
平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	計画していた事業を実施したほか, 道路管理者の一部費用負担により交差点改良も実施した。

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続
対策内容	LRTシステム整備費補助金制度(現:地域公共交通確保維持改善事業費補助制度)について, 国に対し, 補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○補助要件等の見直し要望 					
実績・成果	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	

平成 26 年度	
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	全国路面軌道連絡協議会などを通じて, 補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。

4 一般会計からの補助

(1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計
実績・成果	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計

平成26年度	
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。

4 一般会計からの補助

(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①車両および電路, 変電所等施設の維持保守経費
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円 (H27～H31の5か年合計)
実績・成果	【補助金】 ① 25 百万円	【補助金】 ① 27 百万円	【補助金】 ① 33 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 35 百万円	【補助金】 ① - 百万円 (H27～H31の5か年合計)

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。



5 累積資金不足額の処理

(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について

対策項目	(ア) 一般会計補助金による年次の処理					
対策内容	市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	前年累積額	-1,172 百万円	-1,054 百万円	-936 百万円	-818 百万円	-700 百万円	H27～H31の5か年合計
	解消額	118 百万円	118 百万円	118 百万円	118 百万円	118 百万円	解消額 582 百万円
	不足残額	-1,054 百万円	-936 百万円	-818 百万円	-700 百万円	-582 百万円	
	軌道事業補填	31 百万円	61 百万円	189 百万円	317 百万円	380 百万円	軌道事業補填 363 百万円
	不足額合計	-1,023 百万円	-875 百万円	-629 百万円	-383 百万円	-202 百万円	H31末不足額 743 百万円
実績・成果	前年累積額	-1,170 百万円	-1,052 百万円	-967 百万円	-874 百万円	-781 百万円	H27～H31の5か年合計
	解消額	118 百万円	85 百万円	93 百万円	93 百万円	781 百万円	解消額 - 百万円
	不足残額	-1,052 百万円	-967 百万円	-874 百万円	-781 百万円	0 百万円	
	軌道事業補填	72 百万円	112 百万円	305 百万円	493 百万円	184 百万円	
	不足額合計	-980 百万円	-855 百万円	-569 百万円	-288 百万円	0 百万円	H31末不足額 - 百万円

平成 26 年度

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	<p>バス事業の不良債務については、一般会計と協議のうえ、平成26年度補正予算においてバス不良債務解消補助金の増額と軌道事業からの財源充当により平成26年度末で解消した。また、交通事業会計全体の不良債務についても、計画より1年早く解消した。</p>

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

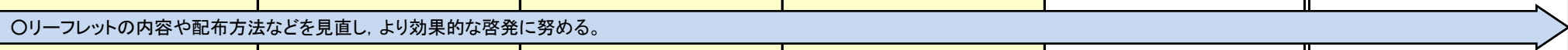
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。				
実績・成果	○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)	○他事業者の状況を調査したが、併用軌道であることから現状では規制する手段が無いと判断した。	休 止	休 止	

平成 26 年度	
評 価	
評価理由	

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化
対策内容	自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○リーフレットの内容や配布方法などを見直し、より効果的な啓発に努める。 						
実績・成果	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ・JRA駐車場にて来場者へ配付し周知を図った。 ・丸今井井駐車で来客者へ配付し周知を図った。 ・交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ・タクシー協会に配付しタクシー乗務員へ周知を図った。 ・自動車学校に配付し受講者等へ定期的な周知を図った。 ・交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○新しい啓発用リーフレットを作成した。 ○引き続き啓発リーフレットを配付し、周知に努めた。 ○路上駐車の影響により、軌道敷内に車両が進出する箇所について、警察に指導をお願いした。	○昨年前倒しで製作した、新しい啓発リーフレットを交通安全運動の期間にドライバーに配付した。 ○自動車学校の高齢者講習やタクシー会社を通じて、啓発リーフレットが配付された。 ○路面電車専用信号についての周知を図るため、ホームページに掲載した。	○各交通安全運動期間中や、自動車学校の高齢者教習で啓発リーフレットの配付が実施できた。 ○公安委員会との協議により、運転免許試験場にリーフレットを設置することができた。 ○レンタカー会社には、リーフレットの設置と利用者への注意喚起を依頼した。		

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	ドライバーへの周知を図るため、交通安全運動期間中の取組や自動車学校の高齢者講習を通じて啓発リーフレットを配付できた。また、公安委員会との協議により、運転免許試験場にリーフレットを設置できたほか、レンタカー会社にも働きかけ、リーフレットの設置と利用者への注意喚起を依頼し、啓発活動の強化に努めた。

# 函館市交通事業経営計画(第2次) 参考資料



【北海道新幹線カラーラッピング車両(らっくる号)】

平成27年7月  
函館市企業局

# 目 次

## ● 参考資料

- |   |                           |    |     |
|---|---------------------------|----|-----|
| 1 | 函館の路面電車                   | 2  | ページ |
|   | ～函館市企業局の保有する車両            |    |     |
| 2 | 電車広告（直営広告）                | 8  | ページ |
|   | ～直営で行っている広告等              |    |     |
| 3 | 函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ      | 12 | ページ |
|   | ～現在販売中のグッズ等               |    |     |
| 4 | 関連イベント                    | 18 | ページ |
|   | ～局実施および市内各種イベント等への協力      |    |     |
| 5 | その他写真等資料                  | 22 | ページ |
|   | ～各種乗車券，建設改良工事，利用者サービスの実施等 |    |     |

# 1 函館の路面電車



### 500形車両諸元表

(530号車)



定員	80人
全長	13,050 mm
全幅	2,336 mm
全高	3,700 mm
自重	16.2 t
台車型式	日本車両ウイングバネ式
電動形式	三菱MB-172-NR
製造所	日本車両
購入年月日	昭和27年 5月31日

### 710形車両諸元表

(715, 716, 718, 719, 720, 721, 723, 724号車)



定員	90人
全長	12,240 mm
全幅	2,342 mm
全高	3,700 mm
自重	14.76 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	新潟鉄工所
購入年月日	昭和35年12月13日 昭和37年 2月15日

### 800形車両諸元表

(812号車)



定員	90人
全長	12,240 mm
全幅	2,342 mm
全高	3,700 mm
自重	14.26 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	新潟鉄工所
購入年月日	昭和41年 5月31日

### 8000形車両諸元表 (8001～8010号車)



定員	80人
全長	12,240 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	14.26 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	アルナ工機
購入年月日	昭和37年 9月29日 昭和38年 6月30日 昭和41年 5月31日
改造年月日	平成2年3月31日～平成25年1月11日

### 2000形車両諸元表 (2001, 2002号車)



定員	58人
全長	12,320 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	18.0 t
台車型式	住友FS-92
電動形式	東洋TDK6302-A
製造所	アルナ工機
購入年月日	平成 5年 3月31日 平成 6年 3月31日

### 3000形車両諸元表 (3001, 3002, 3003, 3004号車)



定員	58人
全長	12,320 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	19.0 t
台車型式	住友FS-92
電動形式	東洋TDK6302-A
製造所	アルナ工機
購入年月日	平成 5年 3月31日 平成 6年 3月31日 平成 7年 3月31日 平成 8年 3月27日



### 8100形車両諸元表(部分低床車)

(8101号車)



定員	60人
全長	12,390 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	16.5 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	アルナ工機
購入年月日	昭和38年 6月30日
改造年月日	平成14年 3月28日

### 9600形車両諸元表(超低床電車:愛称「らっくる号」)

(9601, 9602, 9603号車)



定員	62人
全長	13,250 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	20.0 t
台車型式	住友SS-05 2軸ボルスタレス
電動形式	東洋TDK6407-B
製造所	アルナ車両
購入年月日	平成19年 2月20日 平成22年 3月10日 平成26年 1月24日

### 箱館ハイカラ號車両諸元表(復元電車:別名「レトロ電車」)



定員	33人
全長	9,706 mm
全幅	2,286 mm
全高	3,750 mm
自重	10.35 t
台車型式	米国ブリル21E-1
電動形式	鳥羽MT-60
製造所	札幌交通機械
購入年月日	大正 7年 5月
改造年月日	平成 5年 5月31日

ササラ電車車両諸元表  
(排雪3, 排雪4号車)



定員	—
全長	8,700 mm
全幅	2,344 mm
全高	3,960 mm
自重	10.39 t
台車型式	米国ブリル21E-1
電動形式	鳥羽MT-60
製造所	函館水電
購入年月日	昭和9年
改造年月日	昭和12年4月12日

多目的電車「アムusement・トラム」(500形)車両諸元表



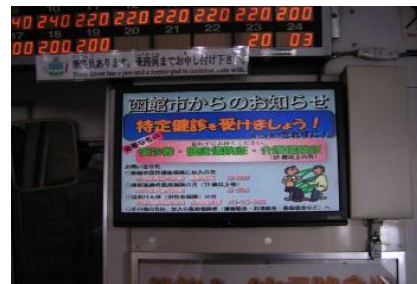
定員	35人
全長	12,510 mm
全幅	2,336 mm
全高	3,700 mm
自重	15.4 t
台車型式	日本車輛ウイングバネ式
電動形式	三菱MB-172-NR
製造所	日本車輛
購入年月日	昭和24年5月31日
改造年月日	昭和62年3月20日
主なサービス機器	電気暖房, 扇風機, 換気扇 カラオケ装置, 液晶式モニター DVDプレーヤー, 大型冷蔵庫 流し台, AC100Vコンセント
座席数	28席(補助椅子使用で35席)





# 2 電車 広告

( 直 営 廣 告 )



## 電車中つり



### 広告料金

規 格	364mm × 515mm (B3版)
単 位	1日1両2枚
金 額	177 円
適 用	最低掲出期間は3日間です。

### 広告料金の割引率

90日以上	全掲出期間につき2割
-------	------------

## 電車窓つり



### 広告料金

規 格	364mm × 515mm (B3版)
単 位	1日1両1枚
金 額	88 円
適 用	最低掲出期間は3日間です。

### 広告料金の割引率

180日以上	全掲出期間につき3割
--------	------------

## 電車額面



### 広告料金

規 格	364mm × 515mm (B3版)
単 位	1日1両1枚
金 額	51 円
適 用	最低掲出期間は5日間です。

### 広告料金の割引率

30日以上90日未満	全掲出期間につき1割
90日以上180日未満	全掲出期間につき2割
180日以上	全掲出期間につき3割

## 電車窓ステッカー



### 広告料金

規 格	150mm × 450mm
単 位	1日1両1枚
金 額	30 円
適 用	最低掲出期間は5日間です。

### 広告料金の割引率

180日以上	全掲出期間につき3割
--------	------------

## 電車外窓ステッカー



### 広告料金

規 格	150mm × 450mm
単 位	1日1両1枚
金 額	36 円
適 用	最低掲出期間は5日間です。

### 広告料金の割引率

180日以上 全掲出期間につき3割

## カラー電車



### 広告料金

規 格	車体全体
単 位	1月1両
金 額	108,000 円
適 用	最低掲出期間は6月間です。 広告料のほかに復元費用216,000円を頂きます。

### 広告料金の割引率

2年を超え4年以下	1月につき1割
4年を超え9年以下	1月につき2割
9年を超える期間	1月につき3割

## 電停ネーミングライツ



### 広告料金

規 格	電停副呼称
単 位	1年1ヶ所
金 額	735,000 円～
適 用	電停毎に条件が違いますのでお見積もりいたします。 ご契約は、1年単位ですが、電車副呼称という性格上、3年以上のご契約をお願いいたします。

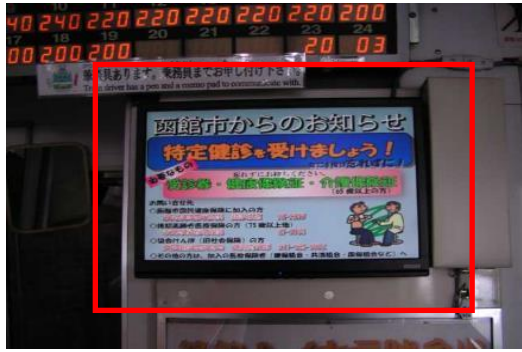
## 料金箱ステッカー



### 広告料金

規 格	170mm × 230mm
単 位	1月全車両1枚
金 額	10,800 円
適 用	1年毎にステッカーは貼り替えとなります。 掲出場所は、1両につき2箇所限定です。

## 液晶ディスプレイ



### 広告料金

規 格	19インチワイドモニタ
単 位	1月15両15秒
金 額	21,600 円
適 用	映像は、1月単位での申込みとなります。 1口につき15両の電車に15秒間の映像を放送します。 2口(つまり30秒)のCMもOKです。

## 窓タイアップステッカー



### 広告料金

規 格	230mm × 500mm(大) 170mm × 500mm(中)
単 位	1月1枚
金 額	450円(大) 282円(中)
適 用	上記の規格以外の大きさについては、価格設定が異なります。

## バナー広告



### 広告料金

規 格	1,000mm × 1,000mm
単 位	1月1両
金 額	75,600円
適 用	最長掲出期間は1年間です。 「らっくる号」(3両)に掲出できます。1両につき左右の2箇所に掲出します。

## 外側板



### 広告料金

規 格	600mm × 1,200mm
単 位	1日(4枚)
金 額	4,680円
適 用	電車の外側面に設置された広告用スペースです。 掲出可能な電車は812号,723号のみとなっています。 2枚で2,340円も可能です。

### 3 函館市電の意匠を使用した オリジナルグッズ





## 五稜郭築造150周年記念「市電1日乗車券」



販売価格 600円(大人券のみ)

説明

五稜郭築造150年の節目の年を迎えるにあたり、それを記念して作成いたしました。  
 こちらは、20,000枚限定です。  
 ※小児券はございません。

## 2014路面電車の日記念「市電1日乗車券」



販売価格 600円(大人券のみ)

説明

「鉄道むすめ」のキャラクター「松風かれん」をイメージした市電専用1日乗車券を作成しました。  
 こちらは、1,000枚限定です。

※小児券はございません。

## 函館の路面電車カレンダー



販売価格 壁掛けタイプA2版二つ折り 1,296円  
 卓上タイプ 90×94mm 540円  
 送料 290円(商品一つにつき)

説明

ファン待望の函館の路面電車カレンダーを販売。

北海道函館市  
 街と人と路面電車との光景を2種類(壁掛け, 卓上)のカレンダーに。

## 市電でめぐる函館100選



販売価格 1,543円

説明

2013年に100周年を迎えた函館の路面電車楽しくめぐる沿線の必見スポット100を厳選。

### 「箱館ハイカラ號」サブレ



販売価格 580 円

説 明

函館観光の記念にお土産に！  
ついに、箱館ハイカラ號のお菓子が登場しました。

### 電停時刻表QRコード付きストラップクリーナー



販売価格 480 円

説 明

函館市電の停留場名標示灯をストラップクリーナーにいたしました。  
このストラップクリーナーに印刷したQRコードにより、その電停からの  
市電発車予定時刻が閲覧できます。

### セルDVD「北の港町で～ササラ電車が守る函館の冬～」



販売価格 2,500 円

説 明

異国情緒あふれる町並みが至るところに残るハイカラな港町北海道・函館。北の路面電車の厳しい冬を守る、明治時代の旧東京市電ヨヘロを改造した除雪用車両・ササラ電車の活躍を記録した、函館市企業局交通部の公式記録映像をDVDソフト化しました。  
函館のササラ電車の全貌が分かる1枚を、どうぞお楽しみください。

### セルDVD 私鉄沿線・日本の車窓シリーズ「函館 白銀のチンチン電車」



販売価格 2,625 円

説 明

「湯の川」～「函館どっく前」～「谷地頭」間を運転士の気分になって  
走破したスペシャル映像です。

## セルDVD「蘇る函館市電3系統」路面電車開業百年記念復刻版



販売価格 2,940 円

### 説 明

函館市電ファン必見!! 平成5年に廃止された市電3系統の貴重映像  
貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

#### [PART1]

函館駅前→ガス会社前→五稜郭公園前  
前走車両8004号から後方営業車両1007号を撮影

#### [PART2]

駒場車庫前→ガス会社前→函館どつく前  
8004号運転席より展望風景を撮影

## セルDVD「蘇る函館市電1系統」路面電車開業百年記念復刻版



販売価格 2,940 円

### 説 明

函館市電ファン必見!! 平成4年に廃止された市電東雲線の貴重映像  
貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

#### [PART1]

松風町→宝来町→十字街→末広町  
運転席よりの展望風景と走行シーン

#### [PART2]

末広町→十字街→宝来町→松風町  
501号運転席より展望風景を撮影

#### [PART3]

最終日の市電東雲線  
最終電車発車シーン等

#### [資料映像]

よその街からきた電車たち(排雪2・6号車試運転・都電色復元等)

## セルDVD「続”蘇る函館市電3系統”路面電車開業百年記念復刻版



販売価格 2,940 円

### 説 明

函館市電ファン必見!! 平成5年に廃止された市電ガス会社まわり線の貴重映像【続編】

貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

#### [PART3]

函館駅前→ガス会社前→五稜郭公園前  
運転席展望風景と1007号走行シーンを撮影

#### [PART4]

五稜郭公園前→ガス会社前→函館駅前  
運転席展望風景と1007号走行シーンを撮影

#### [PART5]

港まつり開催日の市電ガス会社まわり線  
花電車、西武・テーオー前折返し

#### [PART6]

最終日の市電ガス会社まわり線  
最終電車発車シーン等

#### [資料]

写真で振り返る市電“五稜郭駅前線”  
五稜郭駅前電停、特急列車との並走等

※ PART1・PART2は、セルDVD「蘇る函館市電3系統」(別売り)に収録されております。

## 「箱館ハイカラ號」車内放送CD-R



販売価格 復刻版 2,160 円 現行版 2,160 円

### 説 明

平成5年に運行を開始した箱館ハイカラ號。

当時の車内放送をCDにしました。

現在の放送とお聞き比べ下さい。

## 「旧路線」車内放送CD-R



販売価格 1系統 2,160 円 3系統 2,160 円

### 説 明

平成4年3月31日まで運行していた1系統と平成5年3月31日まで運行していた3系統の車内放送をCD-Rに復刻いたしました。

CMも入っておりますので、当時の「はこだて」を懐かしむことの出来る逸品です。

## 箱館ハイカラ號生誕100周年記念プルバック式ダイキャストカー「箱館ハイカラ號」



販売価格 1,600 円

### 説 明

1910年に千葉県成田市で運行を開始した、この電車の台車(=車輪のついている部分で、走行装置のこと)が100周年を迎えます。いよいよダイキャストカーになりました。

## プルバック式ダイキャストカー「らっくる号」オリジナルモデル



販売価格 1,300 円

### 説 明

超低床電車9602号(愛称:らっくる号)の運行開始を記念して第2次版が登場。  
付属のシールで9601号から9603号にまで変身。  
また、お気に入りの行き先を表示して下さい。

## 函館市電8000形電車 1/150スケール(Nゲージサイズ)



販売価格 2,200 円

### 説 明

お待ちせしました！  
市電8000形のプラスチックモデルがいよいよ発売されます。  
細部のこだわりをぜひご堪能下さい。

## 鉄道むすめ『ミニスタンプ』+『IDカード風バッチ』セット



販売価格 600 円

### 説 明

松風かれんは当部でしか手に入らない限定品です。バッチにはキャラプロフィールを記載したキャラクターが身に付けそうなバッチをイメージしたもの、ミニスタンプは実際に設置されているスタンプと同じデザインです。

## 4 関連イベント



## 路面電車感謝祭(駒場車庫「夏休み親子見学会」)



実施時期 7月末(8月)

### 説明

平成16年度から、親子見学会等のイベントを通して、駒場車庫を市民に広く開放することにより、普段の利用に感謝するとともに市電に関心を持ってもらうことを目的に開催してきた。

しかし、幅広い施設の見学や、より深い知識を勉強したいとの要望が多いことなどから、平成27年度から開催時期と実施内容を見直し、駒場車庫だけではなく十字街のポイントや信号の仕組みなどを参加者に勉強してもらえるイベントとして、リニューアルすることとした。

## 街頭キャンペーン



実施時期 6月, 10月

### 説明

「路面電車の日」や「鉄道の日」などにあわせ、街頭で利用促進のためのパンフレットやティッシュを配布している。

## 観光地案内(「観光みどころ案内所」)



実施時期 ゴールデンウィーク, 夏季繁忙期等

### 説明

「観光見どころ案内所」という名称で、函館駅前(夏休み)と湯の川温泉電停前(ゴールデンウィーク)に設置。観光客の多い時期に電車沿線付近の観光案内を行うことで、1日乗車券の販売と市電の利用を促すために実施している。

## 地球環境パネル展



実施時期 7月末

### 説明

平成23年度から「路面電車感謝祭」で実施。市環境部と連携し、環境関連パネルを展示した車両を感謝祭会場内に設置し、来場者へ地球環境に対する意識啓発を図るとともに「人と環境にやさしい路面電車」をアピールしている。

## 「鉄道の日」記念事業



実施時期 10月

説明

明治5年に新橋と横浜間で日本初の鉄道が開業した。  
大正10年10月14日に鉄道開業50周年を記念して東京丸の内に鉄道博物館が開館したことを記念したもので、翌年から鉄道記念日として鉄道省より制定された。

- 【交通部で行っているイベント内容】
- ・PR活動(電停でのティッシュ配付等)
  - ・全線均一料金(200円均一)
  - ・運転体験会

## 中島れんぱい横丁の広告宣伝



実施時期 毎月第4金・土曜日

説明

平成21年度から、毎月第4金・土曜日に「函館市民の台所」中島販売において開催している屋台イベント「中島れんぱい横丁」のPRとして、電車内に広告を掲出している。

## バル街電車



実施時期 主に春と秋

説明

函館西部地区を舞台に、まちをスペインの飲食文化「バル」に見立てて徹底的に楽しもうというイベント。気軽に店に立ち寄り、見知らぬ客同士が会話や食事、音楽を楽しみながらお店を数軒ハシゴして飲み歩くという内容で、バル街のチケット提示で無料で乗れる「バル街電車」を運行している。

■バル街電車 (2本9割)  
函館市企業局のご協力で、「函館どつく前～十字街～終地駅」区間を専用の「バル街電車」が2本、1本は4往復、もう1本は3.5往復運行します。移動とともに車窓からの西部異境をお楽しみください。「バル街チケット提示」(手帳を提示する必要はありません)で運賃はすべて無料、何回でも乗れます。十字街18:55から40分で谷地駅～どつく前～十字街と1往復。各電停には一方向行きが15分毎にやってきます。終電の十字街発(駒場車庫行き)は22:00と22:05。なお、一般の市電の終発は十字街発22:35(湯の川行き)です。

## 黒船



実施時期 7月

説明

函館黒船地域活性化協議会が主催するイベントで、緑の島を会場として実施。会場への交通手段の1つとして、イベント来場者の輸送のため、状況に応じた増便や電停での立哨(人員を配置し、乗降案内などを行うこと)などを行っている。



## 大規模コンベンション開催表示



実施時期 随時

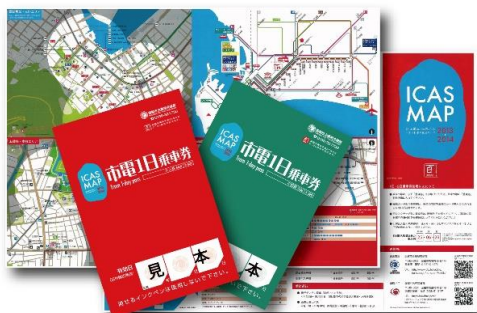
説 明

市などからの依頼に応じて実施。コンベンション参加者等で混雑する場合は、電停での立哨(=安全乗降のための警備や乗客誘導案内)や増便などの対応を行っている(写真は、外側板広告スペースを活用)。

## 5 その他写真等資料



## 電車乗車券(市電1日乗車券)



販売価格 大人：600円 小児：300円

### 説明

市電が1日乗り放題になる乗車券。  
降車時に乗務員に提示し、使用する。  
観光用に、路線図や観光エリアマップを綴じ込んでおり、一部の見学施設・レストラン・土産物店と提携しているため、各店舗等での乗車券を提示することで割引などの特典が受けられる。

## 電車乗車券(市電・函館バス共通1日, 2日乗車券)



販売価格 1日乗車券 大人：1,000円 小児：500円  
2日乗車券 大人：1,700円 小児：850円

### 説明

市電と函館バス(路線バス・エリア限定)が乗り放題になる乗車券。磁気カードのため、降車時にカード用精算機を通して使う。

## 電車乗車券(イカすカード)



販売価格(使用額) 1,000円(1,080円)  
2,000円(2,200円)  
3,000円(3,420円)  
5,000円(5,800円)

### 説明

磁気カード。販売価格で購入し、使用額分まで利用できる。  
降車時にカード用精算機を通して使う。

## 電車乗車券(トワイライトパス)



販売価格 大人：300円 小児：150円  
(18時以降の車内販売のみ)

### 説明

1月上旬～3月下旬の期間限定販売。  
18時以降、発行日当日限り市電が乗り放題になる乗車券。

## 電車乗車券(利用券)



販売価格(使用額) 500円(500円)

### 説明

各種御進物、お礼、お返しなどといった用途向けに販売。  
御進物用封筒なども用意している。  
乗車券として使用できるほか、払い戻し手数料の支払いにも利用出来るイカすカード。

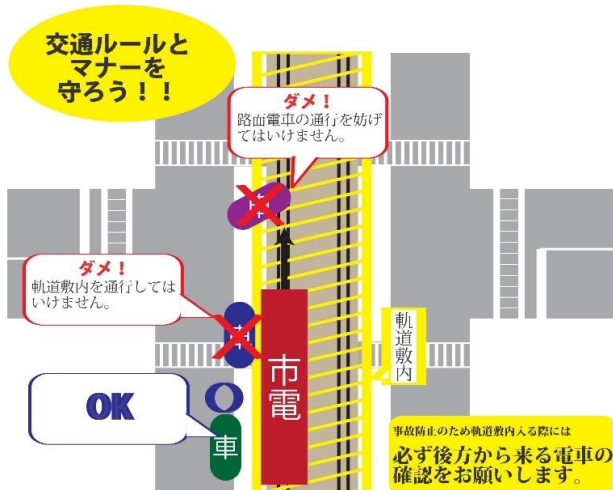
## 電車優先運行啓発リーフレット

### 譲って下さい市電の道を 定時運行の確保にご協力願います

市電は、一度に多くのお客様を運ぶことのできる定時性に優れた「人と環境にやさしいのりもの」として、見直されつつある公共交通機関です。

しかし、他の車両と平行して走行するため、特に交差点では青信号であっても、右折等の車両により軌道敷がふさがれ、市電の走行が妨げられる状況が数多く生じております。

市電の定時運行や接触事故防止のためにも、右折等の際に市電が近づいてきた際には軌道敷に入らず、その「外」で停車いただき、市電がスムーズに運行できるよう、ドライバーの皆様方のご協力をお願いいたします。



函館市企業局交通部安全推進課 TEL 32-1725



### 目指そう 市電と車の共存できる社会

#### ドライバーの皆さん

#### 軌道敷内への直前進入は大変危険です

市電は、レール上を鉄車輪で走行するため、急ブレーキをかけてから止まるまでの距離が車に比べて長くなり、車などの障害物を避けて進むことが出来ません。

また、急ブレーキの使用は、市電のお客様に大きな衝撃を与えますし、接触した場合には双方に危険が生じます。

交差点や右折などで軌道敷内に入る場合には、バックミラーでの確認だけではなく、自らの「目で確認」していただき、軌道敷の「外」でお待ちいただくようお願いいたします。



#### 市電が急ブレーキをかけてから止まるまでの距離(メートル)

		ブレーキをかけようとした時のスピード						
時速 km/h		10	15	20	25	30	35	40
車内人数	0人	5.0	9.1	14.3	20.4	27.8	36.2	49.2
	50人	5.3	9.9	15.6	22.7	31.1	40.7	51.6
	100人	5.7	10.7	17.1	23.1	34.4	42.9	57.3

※天候や軌道の状況などにより、これより長くなる場合があります。

※参考ですが目安として、電柱間の距離がおおよそ30mです。

函館市企業局交通部  
Hakodate City Tram Department

### 説明

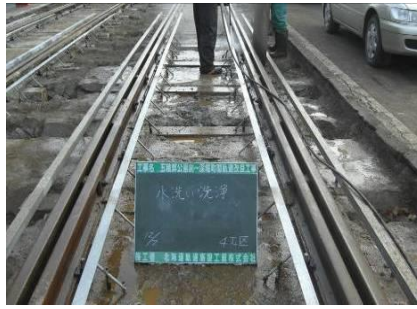
電車と一般車両の接触事故の減少に向けて制作。

これまで、年4回実施される全国交通安全運動にあわせた街頭での一般ドライバーへの配布、運転免許試験場への掲示と配布、市内主要自動車学校への配布と講習での活用、タクシー会社やレンタカー会社への配付などを行ってきた。

平成24年度には、より高い啓発効果を目指した新しいリーフレットを制作した。

## 軌道改良工事

### 【改良前】



### 【改良後】



### 説明

軌道については、敷設後、25年以上経過しているために老朽化が著しい箇所が多いことから、順次、維持修繕工事を行う必要があるが、これにあわせて制震性を高めるとともに将来の維持修繕費の軽減を目的とし、アスファルトからコンクリート道床へ変更、耐久性の高いレールへの交換、レールとコンクリート道床の隙間へのゴムパッキン装着などといった施工をし、軌道の改良を行っている。

## 分岐器改良工事

### 説明

老朽化により、修繕費用が嵩んでいた末広町の分岐器について、現在、ほとんど使用せず良好な状態を保っていた千代台の分岐器を移設した。

### 【千代台分岐器の撤去工事】



施行前・分岐器および軌道の状態



撤去し、コンクリート施工する前の状態



施工後・コンクリート道床と隙間のゴムパッキン化

### 【末広町分岐器の撤去・千代台からの分岐器の移設工事】



施行前・老朽化の激しい分岐器の状態



分岐器を千代台から移設し、ポイントヒーター(凍結防止ヒーター)を設置している状態



施工後・見た目はあまり変化無いが、レール状態などは良好

## 安全地帯上屋設置工事

### 【施行前】



### 【施工後】



#### 説 明

乗降客が雨雪に濡れることを防ぐ目的で、安全地帯に屋根を設置する工事。

函館では、道路幅が確保出来ない箇所が多いため、バリアフリー法に基づく安全地帯の幅(1.5m)の確保が困難であるが、乗降客の利便性と安全性を高める目的で、上屋設置工事にあわせて安全地帯のスロープ化工事も行っている。

本計画期間中の平成22年度以降では、通学生の利用が比較的多い杉並町(平成22年度)に上屋を設置し、のりば環境の向上を図っている。

なお、函館市中心市街地活性化基本計画においては、函館駅から五稜郭公園前までの安全地帯をバリアフリー化し、デザイン性の高い仕様に改築する事業が予定されております。

## 駒場変電所関係改良工事



#### 説 明

電車の運行のためには、北海道電力から購入する三相6,600Vの電力を直流600Vに変圧、整流する必要があるため、現在、駒場と東雲の2箇所に変電所を所有している。

そのうち、駒場変電所については、昭和42年製の機器を使用しており、老朽化が著しいことから、安定した運行確保のため、平成26年度より更新工事に着手しております。

## 電車車体改良

### 【車体改良後(800形→8000形)】



#### 説 明

車両の老朽化対策の一つとして実施。本来は新車購入による更新が望ましいが、価格が高額であるため、800形電車の台車および制御装置等をそのまま活用し、老朽化した車体のみ更新し、費用を抑えつつ長寿命化を図っている。

## 電車車体大規模改修

### 【車体底面の状態】



### 説 明

2000形、3000形、8000形車両は、平成2年～8年にかけて購入した車両で、運行開始より20年以上経過しているために老朽化が著しい。このため、増加傾向にある修繕費を抑制するため、主要構造部分を補修することで長寿命化を図る予定としている。

## 主要停留場での乗り継ぎ

### 乗継停留場（所）

函館駅前（市電・函館バス）  
 樺二森屋前（函館バス）  
 五稜郭公園前【野村證券前】（市電）  
 五稜郭（函館バス）  
 湯の川（市電）  
 湯倉神社前（函館バス）  
 深堀町（市電・函館バス）

### 説 明

函館バスとの路線の乗り継ぎについては、指定された停留場でのみ可能。当日2時間以内有効となる「乗り継ぎ券」を発行する（イカすカードの場合はカードに乗り継ぎ情報を記録するため不要）。

乗り継ぎ方法は、最初の降車時に乗車料金＋50円（乗り継ぎ料金）を支払い、乗り継ぎ後の降車時に区間に応じた追加料金を支払う（210円区間まで追加料金無し）。

## 車内ポスター

湯の川 深堀町 五稜郭公園前 函館駅前 でお降りの方は  
**函館バスへ乗り継ぎできます**

ここまでの乗車料金  
**乗継料金 40円**  
小児や障害バスを乗車の方は20円

乗継乗車券を発行  
 乗り継ぎ後、200円の乗車券として使用できます

イカすカードの場合は  
 乗り継ぎカードが記録されます  
イカすカード 011-1382-22566

※乗り継ぎの精算は、乗車前に行先をお知らせ下さい。なお、連続して「乗り継ぎ」はできません。  
 ※函館バスから市電への乗り継ぎも同じ取扱いです。

乗り継ぎ後の精算は  
 200円区間は乗継乗車券のみ  
 200円を超える区間は差額も

イカすカード  
011-1382-22566

イカすカード  
011-1382-22566

※函館市交通局

遺言や契約は公証役場で!! 定款認証は電子公証でもできます。  
**函館公証役場** 相談は無料です。お気軽にどうぞ  
函館市若狭町15-7-51 TEL.0138)22-5661  
 (函館駅前・北2ビル5階)

### 説 明

函館バスとの乗り継ぎ方法について、わかりやすく図入りで説明しているポスター。函館バス(株)と協力し、路線バス車内にも同様のポスターを掲示することで、電車・バスの相互利用者への周知を図った。(現在は、一定の周知が図られたとの判断から、高齢者カードに関する説明ポスターを掲示している。)

## 路線図



実施時期  
平成23年度

説明  
海外からの観光客などの  
利便性向上策の一つとして、  
多言語化した路線図を作成。  
ホームページに掲載するなど  
している。

表記している言語は、日本語、英語、ハングル文字、簡体字(中国)、繁体字(台湾)の5種類。

## 電停広報装置



説明

災害や事故による車両の運休や故障等による遅れのお知らせなどを行うため、全停留場に設置されている無線方式の広報装置。

津波警報の発令といった災害や緊急時における市民の誘導案内にも活用する予定としている。

## インターネット等



説明

函館市は国内外から多くの観光客が訪れる観光都市で、スマートフォンやタブレットPCをはじめとしたWi-Fiによるインターネット接続可能な情報端末の急激な普及により、情報提供体制の構築や、平成27年度に予定される北海道新幹線の開業により、増加が見込まれる観光客への受入体制の向上が課題であったため、函館市におけるWi-Fi利用環境の拡大を目的とした、Wi-Fi(公衆無線LAN)サービスを全境的に実施することになった。路面電車全線でのインターネット接続環境の整備は、国内初。



100円キャッシュバックサービス（はこだて自由市場）



説明

はこだて自由市場と協力し、平成25年度から新たに開始したサービス。市電専用一日乗車券を自由市場で買い物をする時に提示すると、購入金額にかかわらず100円のキャッシュバックが受けられるほか、自由市場の各店舗での個別サービスも受けられる。

市電乗り案内

函館市電の乗り方

1. 中央ドアから乗ります  
電車の中央にあるドアから乗車してください。  
運賃は降車時に支払います。

2. 目的地ボタン  
車内アタラシで目的地が案内されたら、降車ボタンを押します。

하코다테 전차 타는법

1. 중앙 문에서 탑승합니다  
전차 좌측에 있는 문으로 탑승하시오. 손잡이 내려질 때 내립니다.

2. 목적지 안내방송이 나오면 버튼을 누르세요.  
목적지 안내방송이 나오면 버튼을 누르세요.



3. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。

4. 降車ボタン  
降車時に降車ボタンを押します。



5. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。

6. 降車ボタン  
降車時に降車ボタンを押します。



7. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。

8. 降車ボタン  
降車時に降車ボタンを押します。



How to Take the Tram Hakodate

1. Board the tram through the central door  
Please board the tram through the central door. The fare is paid when exiting.

2. Press the button for destination & stop  
When your destination is announced, push the button to request a stop.

函館電車の乗車方法 函館電車の乗車方法

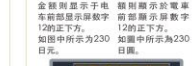
1. 中央ドアから乗ります  
乗車時中央ドアから乗車してください。乗車料金は降車時に支払います。

2. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。



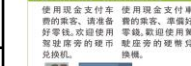
3. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。

4. 降車ボタン  
降車時に降車ボタンを押します。



5. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。

6. 降車ボタン  
降車時に降車ボタンを押します。



7. 降車ボタンを押します  
降車時に降車ボタンを押します。

8. 降車ボタン  
降車時に降車ボタンを押します。



説明

海外からの観光客などの利便性向上策の一つとして、多言語化した乗り案内を作成。ホームページに掲載しているほか、改修した函館駅前電停に設置している。

日本語、英語、ハングル文字、簡体字(中国)、繁体字(台湾)の5種類がある。

JR函館駅内の市電のりば案内



説明

JR北海道函館支社の協力によって、JR函館駅内への市電のりばをわかりやすく示した看板の設置がされることになった。現在、改札口上部および駅舎出口付近に設置されている。